

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4005131号

(P4005131)

(45) 発行日 平成19年11月7日(2007.11.7)

(24) 登録日 平成19年8月31日(2007.8.31)

(51) Int. Cl.		F I		
B 4 3 L 19/00	(2006.01)	B 4 3 L 19/00		H
B 6 5 H 35/07	(2006.01)	B 6 5 H 35/07		

請求項の数 9 (全 6 頁)

<p>(21) 出願番号 特願平9-514336 (86) (22) 出願日 平成8年9月27日(1996.9.27) (65) 公表番号 特表平11-512672 (43) 公表日 平成11年11月2日(1999.11.2) (86) 国際出願番号 PCT/US1996/015569 (87) 国際公開番号 W01997/012828 (87) 国際公開日 平成9年4月10日(1997.4.10) 審査請求日 平成15年8月15日(2003.8.15) (31) 優先権主張番号 9520084.6 (32) 優先日 平成7年10月2日(1995.10.2) (33) 優先権主張国 英国 (GB)</p>	<p>(73) 特許権者 ベロル・コーポレイション アメリカ合衆国61032イリノイ州フリーポート、イースト・スティーブンスン・ストリート29 (74) 代理人 弁理士 倉内 基弘 (74) 代理人 弁理士 風間 弘志 (72) 発明者 スティーブンス、クリストファー ジョン イギリス国パークシャー、レディング、ケバッシュム、ザ、ウィロウズ、8 審査官 櫻井 茂樹</p>
--	---

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 テープディスペンサ

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

新しいバックングリボンの供給源と使用済みのバックングリボンとからなるテープを共に内部に収納する装置であるハンドルと、前記テープを紙面に押し、前記新しいバックングリボンのコーティング成分を前記紙面に転移させるための、テープが通過する縁部を備えるアプリケーションタとを有し、前記ハンドルが、前記縁部に直角な平面に関して反対方向に傾斜した位置の間で前記縁部に対して選択的に調整可能であるように前記アプリケーションタに結合され且つハンドルを、前記選択された調整位置に保持する戻り止め手段を有しているテープディスペンサ。

【請求項2】

前記ハンドルは、前記位置の間で前記アプリケーションタに対して回転可能に調整可能である請求項1に記載のテープディスペンサ。

【請求項3】

前記ハンドルをいくつかの調整位置のいずれか1つの位置に調整することができるように前記アプリケーションタとハンドルとの間にラチェット手段が設けられている請求項1に記載のテープディスペンサ。

【請求項4】

前記アプリケーションタは、前記ハンドルを調整可能な回転軸を画定する軸受部分と、前記選択されたハンドル位置がどこであっても回転軸と一致する位置を通してテープを案内するテープガイド手段とを有する請求項2あるいは3に記載のテープディスペンサ。

10

20

【請求項 5】

前記テープガイド手段は、前記回転軸に平行なテープ接触面を備えた一对の部材を有する請求項 4 に記載のテープディスペンサ。

【請求項 6】

前記テープガイド部材は、ローラである請求項 5 に記載のテープディスペンサ。

【請求項 7】

新しいバックングリボンの供給源と使用済みのバックングリボンとからなるテープを共に内部に収納する装置であるハンドルと、前記テープを紙面に押し、前記新しいバックングリボンのコーティング成分を前記紙面に転移させるための、テープが通過する縁部を備えるアプリケーションタとを有し、前記ハンドルが、前記縁部に直角な平面に関して反対方向に傾斜した位置の間で前記アプリケーションタに対して回転可能に且つ前記縁部に対して選択的に調整可能であるように前記アプリケーションタに結合され、前記アプリケーションタが、前記ハンドルを調整可能な回転軸を画定する軸受部分と、前記選択されたハンドル位置がどこであっても回転軸と一致する位置を通してテープを案内するテープガイド手段とを有するテープディスペンサ。

10

【請求項 8】

前記テープガイド手段は、前記回転軸に平行なテープ接触面を備えた一对の部材を有する請求項 7 に記載のテープディスペンサ。

【請求項 9】

前記テープガイド部材は、ローラである請求項 8 に記載のテープディスペンサ。

20

【発明の詳細な説明】

本発明は、コーティング成分のストリップを紙面等の所定の表面に張り付けるように使用される種類のテープディスペンサに関する。本発明は、紙の表面に薄い材料を張り付け、筆記またはタイプの誤りをカバーし、その誤りの修正を容易にするために使用されるいわゆる修正テープディスペンサに関する。しかしながら、ここに示したテープディスペンサは、他のコーティング層を所定の表面に塗布するために使用することもできる。テープディスペンサは、テープが通過する丸い縁部を画定するとともにテープを紙の表面に押し付けるアプリケーションタ先端部分を有する。このテープは、一方の側にコーティング成分の連続層を備えた紙またはプラスチックで形成されたバックングリボンから成る。テープがアプリケーションタ縁部によって紙の表面に押され、縁部が紙の表面上を動くとき、新しいテープがディスペンサの本体内部に収容されたテープの供給源から引き出され、テープが縁部の周りを通過するとき、コーティング成分がバックングリボンから紙の表面に転移し、連続したコーティング成分のストリップが紙の表面に堆積され、コーティング成分が除去された使用済みのリボンは、テープの全体供給部分が消費されるまで収納のためにディスペンサ本体に引き戻され、リボンが使用されたとき、ディスペンサ全体が廃棄される。ディスペンサの本体は、使用者が手で把持するハンドルを形成する。

30

従来多くの修正テープディスペンサは、それら全体の形状および構成によって、使用中に保持しにくい。前のイギリス特許出願第 2 2 7 5 0 4 2 号において、ディスペンサのハンドルをアプリケーションタ縁部に対して所定の向きを向くようにし、使用の際に通常、筆記用具を持つと同じ方法でハンドルを持つことができるテープ案内構成を備えたテープディスペンサが示されている。よって、使用中に、テープディスペンサハンドルは、全体がユーザに向かって傾斜する方向に紙から離れて上方に伸長することができる。この構成は、ディスペンサを使用上便利にし、簡単にするが、それは、ディスペンサを右手に持って使用することを意味し、左手に持つ場合には容易に使用することができないという、取り扱い上の欠点を有していた。

40

本発明は、この問題を解決し、解決法として、ハンドルを備え、そのハンドル内に、コーティング成分を支持するバックングリボンからなるテープの供給源を収納する手段と、コーティング成分が除去されるバックングリボンと、テープが通過する縁部であって、前記テープを表面に押し、前記バックングリボンから前記表面にコーティング成分を転移する縁部を備えたアプリケーションタと、を備え、前記ハンドルは、前記縁部に直角な平面に関して

50

反対方向に傾斜した位置の間でアプリケーション縁部に対してハンドルの選択的な調整を可能にするように前記アプリケーションに結合されているテープディスペンサを提供する。

最も有利には、ハンドルは左手および右手の使用において最も適する位置の間でアプリケーションに関して回転・調整可能である。正規の使用中に、ユーザが部品を締め付けハンドルを固定するような特別の取り扱いをする必要がなくなるように選択された調整位置にハンドルを保持するように戻り止め機構が設けられる。

現在好ましい実施例において、戻り止め機構は、ハンドルをいくつかの位置に調整可能とするラチェットの形態である。ディスペンサを左手または右手で容易に使用することができるようにすることに加えて、これは、ユーザが使用中有利で快適に個人の好みによって所定のハンドルの傾斜を選択することができる利点を有する。

10

これはハンドルが調整可能であるので、テープがアプリケーションから送られる領域および消費されたバックアップテープがアプリケーションから引き出される領域は予め定められていない。したがって、テープガイド手段は、アプリケーションに対してハンドルを調整可能な軸線とほぼ一致した位置を通してテープを案内するように配置されることが好ましい。このようにテープは、アプリケーション縁部とハンドルを調整可能な位置とは無関係にそれに固定された位置との間で案内することができる。

有利には、テープ案内手段は、テープをそれらの間で自由に走行させることができるように回転軸に平行な回転軸および十分に間隔をおいた表面を備えた一对の円筒形ローラを有する。

本発明の完全な理解は、添付図面の詳細な説明から得ることができ、添付図面の参照がなされる。

20

第1図は、本発明による修正テープディスペンサの分解斜視図である。

第2図は、ハンドルケーシングカバーが取り外された側面図である。

第3図は、右手を使用する上で調整されるディスペンサを示す斜視図である。

第4図は、左手を使用する上で調整されるディスペンサを示す図である。

図示したテープディスペンサは、ベース部分2と、固定具および溶接または他の有利な手段によってともに固定されたカバー3とから組み立てられたケーシングを有する本体またはハンドル1を有する。ケーシング内にはベースとカバーとの間に支持され、送りスプール6とテイクアップスプール7を支持する一对の横断方向のスピンドル4, 5が取り付けられている。スプールは一体のプーリを有し、このプーリの周りに連続駆動ベルト8が配設されており、修正テープが供給スプール6から引かれるとき、テイクアップスプール7が使用されたバックアップリボンを引き上げるために回転する。2つのスプールの間では、テープの一部分が案内され、ケーシングから出て、ケーシングから突出しているアプリケーション12の作動縁部10を周り、ケーシングに戻る。アプリケーションは、縁部10を画定する先端部11を支持しているアーム13を有し、先端部は、例えば、特許出願PCT/US94/06585に示されるような表面に修正成分の張り付けを容易にするようにアームに固定されるか、それに可動に取り付けられる。アームの内端は、部分的な円筒形シェル軸受エレメント14を支持し、この軸受エレメント14は、アプリケーションおよびハンドルが相対的に回転可能になるようにケーシングのベースおよびカバーの内面に設けられた円形の溝15内で回転されるように配置されている。軸受エレメント14およびケーシング

30

40

ジャーナル溝の対向面は、一方の面の周りに一連のピップ部分と、他の面の周りに一連のくぼみ部分のような補完的な戻り止めを備え、ラチェット装置を形成し、このラチェット装置は、アプリケーションアーム13が突出するケーシング開口の縁部によって画定された2つの最大回転位置の間のいくつかの位置のうちの1つの位置をとるように調整することができる。

第2図でもっともよく判るように、ハンドルは、縁部10に直角な平面Pに関して反対方向に傾斜して伸長するように調整可能である。軸受エレメントの範囲内のアプリケーションアームの各側には、一对の回転可能な案内ローラ16, 17が支持されており、この案内ローラ16, 17は、ケーシングおよびアプリケーション12の旋回軸線に関して互いに反対方向に配置されている。ローラ表面は、テープが

50

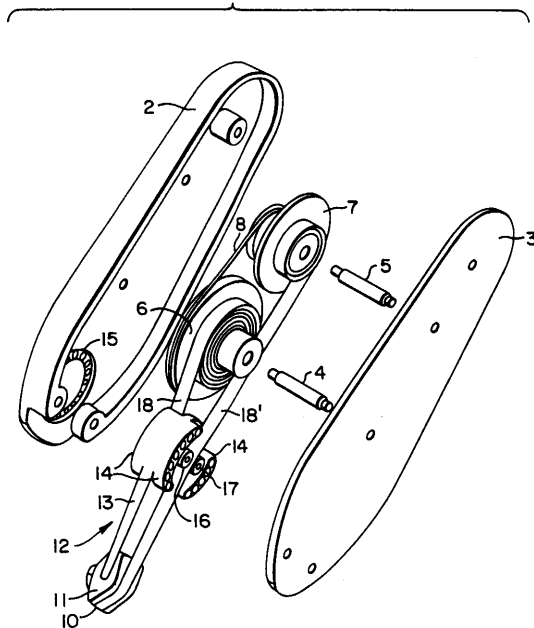
その間を自由に走行することができるように小さい距離離れている。よって、バックングリボンおよび修正成分からなるテープは、送りスプールから、回転軸線と一致し、アプリケーションアームの一方の側のガイドローラ16, 17の対によって画定された位置を通過し、アプリケーション先端部11の縁部10までその周りを通り、回転軸線と一致し、アプリケーションアームの他方の側のガイドローラ16, 17の対によって画定された位置を通過し、次にテイクアップスプール7まで通過する。使用中にディスペンサは、ケーシングまたはハンドルによって保持され、アプリケーション先端部の縁部10は、テープ18を紙の表面に押すように使用される。縁部は、縁部に直角な方向に所定の表面に対して移動される。修正成分は、バックングリボンから紙の表面に移動する。なぜならば、先端部は、新しいテープを送りスプール6から引き出し、バックングリボン18から先端縁部の周りを通り、したがって、そこから修正成分が除去され、テイクアップスプール7に巻き上げられる。このように、修正成分は、連続ストリップ19として紙の表面に張り付けられるからである(第3図および第4図参照)。

アプリケーション12とハンドル1との間で可能な回転運動は、第3図に示すように右利きのユーザによって使用される位置から第4図に示すような左利きのユーザによって使用を容易にする位置にハンドルを容易に調整することができるようにする。さらにラチェット装置によって、紙に対してハンドルを保持する必要がある角度は左利きおよび右利きの人によって最大限快適なように調整することができる。

本発明の概念から逸脱せず上述したテープディスペンサの変形例が可能であることは理解できよう。例えば、ガイドローラ16, 17の所定の位置において底摩擦ガイドピンを使用することができることは述べた。また、ハンドルとアプリケーションとの間の回転調整は、数箇所の位置の調整の選択を可能にし、先端部11は、使用中にハンドルの位置の細かな調整を行うことができる準備位置まで可動である。

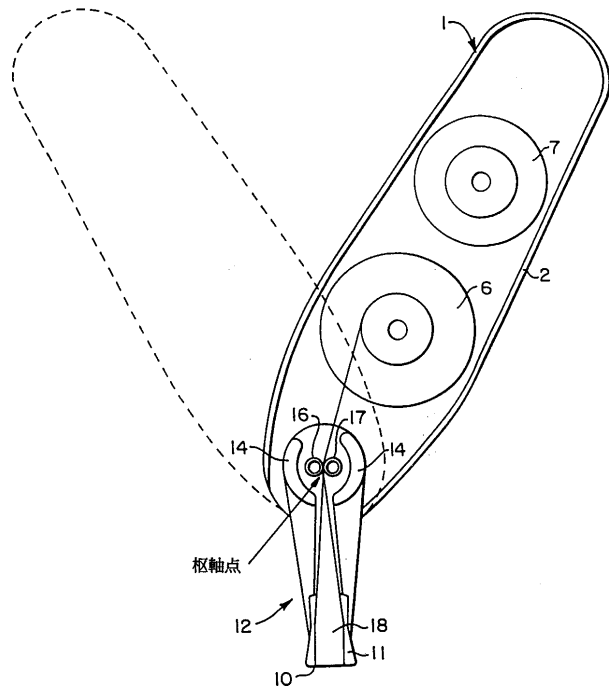
【図1】

FIG. 1



【図2】

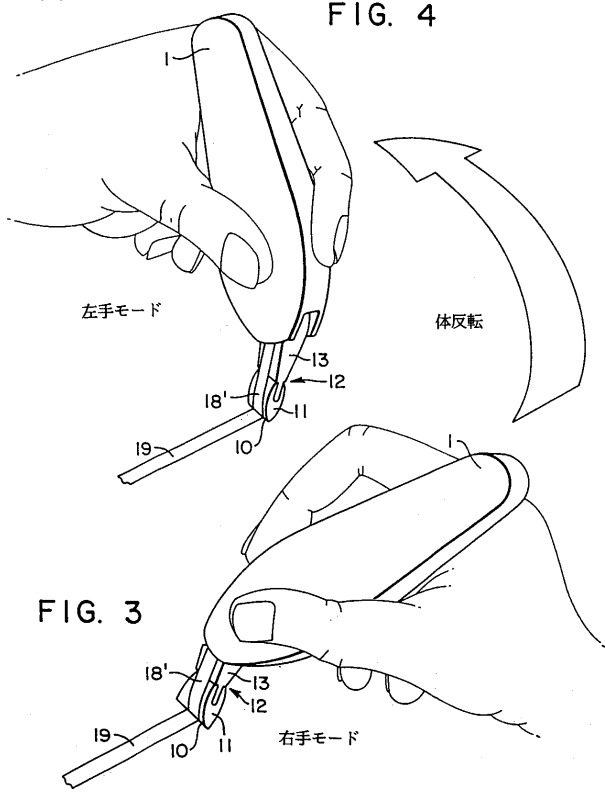
FIG. 2



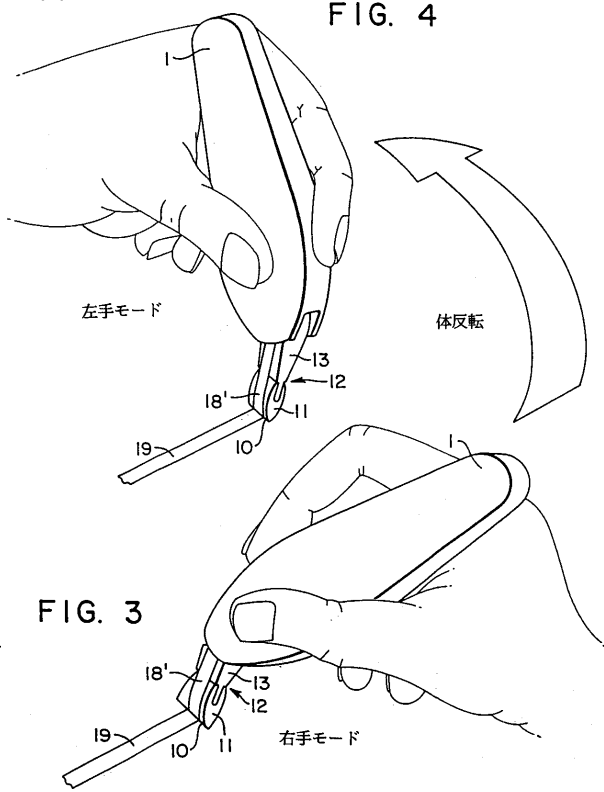
10

20

【図3】



【図4】



フロントページの続き

(56)参考文献 実開昭63-056690(JP,U)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

B43L 19/00

B65H 35/07